

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策2
市町村との更なる連携による行政の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

次長 内田 詔巳

電話番号

22-6706

事務事業の名称	石見・隠岐地域振興施策への支援	
目的	(1) 対象	石見・隠岐地域市町村・各種団体・企業等
	(2) 意図	対象市町村・各種団体・企業等が単独又は複数で計画した、石見・隠岐地域の振興に資する事業について、より大きな事業効果が生まれるように支援を行う。
事業概要	石見・隠岐地域の活性化のため、市町村等が行う広域的な地域振興策の実施に向けて、県庁内部の調整や石見・隠岐地域施策推進費を交付することにより支援する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	支援事業実施件数	目標値	3.0	5.0	5.0	5.0	件
	取組目標値							
	式・定義	石見・隠岐地域施策推進費実施事業	実績値	7.0	7.0			
			達成率	233.4	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	取組目標値							
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	6,500	15,000
うち一般財源 (千円)	6,500	15,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・組織改組によりH28、10から隠岐地域振興が追加。
 ・人口減少社会において、行政サービスを安定的、持続的、効率的かつ効果的に提供するためには、あらゆる施策を単独の市町村だけで推進するのではなく、各市町村の資源を有効に活用する観点からも、地方公共団体間の連携により施策を推進することは非常に有効。
 ・しかしながら、石見・隠岐それぞれの地域において、各市町村は総合戦略等に基づき、様々な施策を推進しているが、市町村単独での取組みがほとんどであり、広域的な取組みはあまり見受けられない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

石見・隠岐地域施策推進費による支援

《石見地域》
 ・萩・石見空港にも近いグラントワを起点とする「石州瓦の旅」を、官民が広域的に連携して行うことにより石見の持つ魅力を新たに発信
 ・県内外のバイヤーや一般消費者に対して、石見地域9市町の特産品の商談会、即売会マッチングする場を設定

《隠岐地域》
 ・隠岐地域へのUターン者に対する施策において、Uターン者がより円滑に定住（移住後の定着）することができるための支援策を検討
 ・学習意欲及び情報発信スキルが高い首都圏社会人と連携し、隠岐地域の新たな魅力発掘と情報発信

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 市町村間の連携による広域的な取組みが少ない

②困っている状況が発生している「原因」
 ・市町村は、人口規模や地理的条件等において多様であり、まずは、それぞれの市町村が自らの創意工夫により、単独で施策を推進する方法を模索している。
 ・また、市町村間の連携による広域的な取組みを行うためには、どこかの市町村が主体的に調整を行う必要があり、連携の必要性は認識するものの、現実的にはなかなか物事が進展しない。

③原因を解消するための「課題」
 ・石見・隠岐地域の振興のために、県と各市町村が今まで以上に一緒に議論・協議する場が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

各市町村等が行う地域資源を活用した広域的な取組みについて、関係先との必要な調整をより積極的に行うとともに、石見・隠岐地域施策推進費の交付などにより地域活性化を支援していく。